

# シドニー派遣を終えて

名古屋市立富田高等学校 2年 大橋姫羽

## 1. 私の研修の目標

私は、将来海外でファッション関係の仕事に就きたいと思っています。だから、多民族国家であるオーストラリアを訪れて民族間のファッションの違いや日本人とのファッションの違いを見つけたいと思いました。また、普段学校で学んでいるイギリス英語とオーストラリア英語がどのように違うのかを知り、どのくらい自分の英語が通じるのか体験して、これから活かせるようにすることを目標の一つにして出発しました。

## 2. 事前の準備

事前研修では、派遣団内でグループに分かれ、それぞれが名古屋のことを調べて、英語で他のグループやAETの先生に紹介しました。また、オーストラリアについてのビデオを見て学んだり、オーストラリアで発表するために、日本の踊りを練習しました。個人では、日本のことを知ってもらうために、扇子や日本のお菓子をお土産として用意したり、リスニング力を高めるために字幕なしで洋画を観たりしました。

## 3. シドニーでの体験

シドニーでの10日間は、毎日が驚きの連続で、すべてが印象的でした。

ブルーマウンテンズグラマースクールでの3日間の体験入学は特に印象的でした。そこでは、日本の授業スタイルと違うところが沢山ありました。まず、授業中に飲食をして良い授業があり驚きました。また、生徒達は一人一台ノートパソコンを持っていて、それを使って授業を受けていました。そして、生徒達は授業中、積極的に質問をしていました。また、どもクラスも自由席なので周りの人とディスカッションしやすく良いと思いました。授業中に積極的に質問することは自分でも出来ることなので、日本の授業で広められたらいいと思いました。

オーストラリアは多民族国家なので、シドニーには日本よりも色々な民族料理の飲食店があり、どんな民族でも住みやすいように工夫されていることに気付きました。

また、オーストラリアで観た景色は、どれも絶景でした。ブルーマウンテンズのスリーシスターズやシドニーオペラハウスとハーバーブリッジとポート・ジャクソン湾が一緒に見られる場所やホストファミリーと見た星空は、まるでインターネットで調べたら出てくる画像のようで、非常に綺麗で今でも鮮明に覚えています。

現地の学校訪問やホームステイなど普通の旅行では絶対にできないことを体験することが出来ました。

## 4. 研修の成果と今後の課題

### <成果>

最初に考えていた目標よりもっと大事なことを見つけることが出来ました。それは、人見知りせずに、自分から積極的に話すということです。初めは、自分の英語に自信がなく、あまり会話を続けることが出来ませんでした。現地の人達が一生懸命に私の言おうとしていることを理解しようとしてくれたので、だんだん積極的に話しかけに行けるようになりました。現地の人たちとコミュニケーションをとることによって、スピーキング力とリスニング力が高まったと思います。

### <課題>

この研修の中で、言いたいことに関する単語がなかなか出てこなかったり、言われていることは分かっているのに何と答えて良いのか分からなかったりした時が何度かありました。したがって、語彙をもっと増やすこととコミュニケーション力をもっと高めることを今後の目標にして、英語の勉強を続けていきたいと思っています。

